

あかれんが

卍 複十字病院だより

〒204-8522 清瀬市松山3-1-24
TEL : 042-491-4111 <http://www.fukujuji.org>

【発行責任者】 院長 後藤 元



新しい「あかれんが」の 発刊にあたって

院長 後藤 元



新しく生まれ変わった「あかれんが」の第1号をお届けします。

複十字病院から、地域の先生方へ、患者の皆様へ、最新の情報をお伝え

するメッセンジャーです。複十字病院のトピックス、ニュース、開催される講演会、構内の花便りなど、これから、2ヶ月に一度、お届けします。

前身の「あかれんが」から数えると、丁度111号になります。1が3つです。地域の先生方に1番お役にたち、患者の皆様へ1番頼りにされ、そして、当院の職員にも1番愛着を持ってもらえる、そんな「あかれんが」を目指していけたらと思っています。

どうぞよろしくお願いします。

今月のトピック

治療用照射装置の出力線量について 第三者機関による測定評価を受けました

放射線治療装置（ライナック）はいつも正確な量の放射線を照射しなければいけません。当院では定期的な品質・精度管理を行い、全ての患者さんの照射前に線量の実測を行っています。更に今年度は、財団法人医用原子力技術研究振興財団という第三者機関による評価を受け、一定の線量精度を満たしていることが証明されました。この機関は関係学協会からの推薦委員および専門家で構成された医療放射線監理委員会の監理・監督のもとに運営されています。第三者評価プログラムは世界各国で実施されており、医療事故防止にも有効であることが示されています。今後も質の高い放射線治療を実施していきます。



複十字病院呼吸器内科

複十字病院呼吸器内科は2016年4月1日より、呼吸器内科を再編成し、がんセンター、結核センター、呼吸器センター（含 気管支動脈塞栓チーム）となります。呼吸リハビリテーションセンターは継続し、このように四大機能を独立させることで、結核予防会という団体名から想像される「結核だけ診療しているのではないか」というイメージを脱却し、呼吸器専門施設としてとして広く地域医療に貢献していくのが目的です。

また、内科学会専門医制度の改正に伴い、多摩北部4病院による連携を密にし、人事交流や医師教育を通じ病院同士の交流が増し、今まで同様、診療、研究、情報発信、教育の各分野に尽力していく予定です。

呼吸器の企画としては、各分野の最先端のご発表をうかがう「エキスパートセミナー」、呼吸不全患者さんのこれからを考える「在宅酸素療法を見直す勉強会」を立ち上げ、感染症では真菌症を中心に新しい研究会、生活習慣病と呼吸器疾患と両分野を学ぶ研究会がはじまり、放射線科主催の「胸部画像セミナー」を継続していく予定です。

先生方には、ご講演をお願いすることも多いかと存じます。よろしくお願いいたします。



呼吸器内科・呼吸器外科・放射線科 合同カンファレンスにて

気管支内視鏡検査について

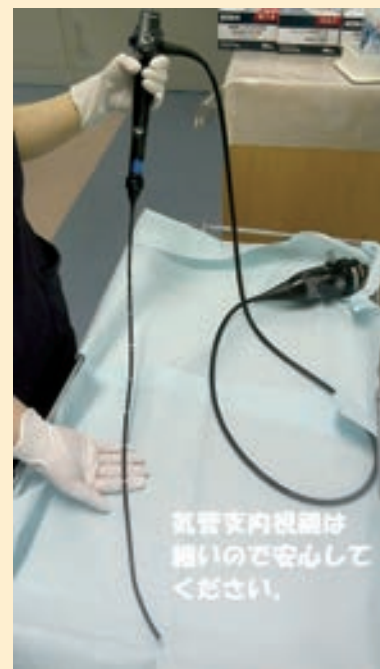
当院では月曜日と金曜日に気管支内視鏡検査を行っております。上部消化管内視鏡（胃カメラ）はご存じでしょうが、気管支内視鏡検査はあまり認知されていない検査だと思います。

気管支内視鏡検査の目的は肺の病気の診断と病気の治療の2つに大別されます。

診断としては肺炎、非結核性抗酸菌症、肺癌などの診断。

治療としては狭い気道を広げるステント術、喘息に対するサーモプラスティ治療などです。

気管支内視鏡検査は肺にカメラを入れるため咳や息苦しさなどが出るきつい検査でしたが、最近点滴の鎮静剤を使うことで大分改善されており、眠っている間に検査が終わっていたという方もいらっしゃいます。当院は検査件数が年間約650例と都内でもトップレベルの件数を誇っており、日本呼吸器内視鏡学会の認定指導医をはじめ経験豊富な呼吸器外科・内科の医師が検査を担当しております。スタッフ一同負担の少ない安全な検査を提供できるよう心がけております。



複十字病院の行事予定

すべて参加無料
予約不要です

HOTの会 | 受付 13:00~ 時間 13:30~15:00 場所 複十字病院 会議棟大会議室

慢性呼吸器疾患の患者さん向け
排痰困難・体力低下・息切れにお悩みの方へ

「息切れ」シリーズ

呼吸ケアリハビリセンター部長 理学療法士 千住 秀明

4/13	栄養について	講師 管理栄養士	シリーズ① なぜ「息切れ」が生じるのでしょうか？
5/25	吸入療法	講師 管理薬剤師	シリーズ② 「息切れ」を予防する呼吸法
7/27	運動療法について	講師 理学療法士	シリーズ③ 「息切れ」を予防する排痰法
9/28	日常生活について	講師 慢性呼吸器疾患認定看護師	シリーズ④ 「息切れ」を予防する運動療法
11/16	在宅での自己管理 呼吸ケアリハビリセンター長 医師 吉田 直之		シリーズ⑤ 「息切れ」と仲良く暮らそう

糖尿病教室 | 時間 13:30~ 場所 複十字病院 会議棟大会議室

糖尿病・糖尿病予備軍の方、どうぞご参加ください。

4/26	・眼から糖尿病がわかる？ ・薬は糖尿病網膜症を引き起こす？
6/28	・肝臓を守る ・暑い日の過ごし方

乳がん患者会 秋桜の会 | 時間 毎週水曜日 12:00~15:00 場所 リンパ浮腫外来



患者さん同士でお話ができます。今悩んでいることや聞いてみたいこと等、情報交換の時間を過ごしませんか？ 診察の待ち時間にぜひお立ち寄り下さい。お待ちしております。

5/12 看護の日

複十字病院玄関ロビーにて、ポスター展示、相談会、各種測定、介護用品展示などさまざまなイベントを開催する予定です！大人気シールぼうやも来るかも？!



新

医師の紹介



Doctor
A la carte

あわしま まいこ
淡島 舞子



- 出身地／京都府京都市
- 出身大学・卒業年／
防衛医科大学校
2011年卒業

▶大学卒業後の主な経歴

2011年に卒業し、防衛医科大学校病院・自衛隊中央病院において初期研修を修了しました。2013年6月から2015年7月まで自衛隊那覇病院内科に勤務しまして、2015年8月より防衛医科大学校病院 感染症・呼吸器内科で後期研修医として勤務しております。

▶専門医・認定医資格

認定内科医

▶趣味及び特技

スポーツ観戦、弓道

▶患者様へのメッセージ

2016年2月より複十字病院において勤務する機会をいただきました淡島と申します。4ヶ月と限られた期間ではありますが、少しでも皆様のお役に立てますよう励みたいと存じます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

相談支援センターからのご案内

相談支援センター長 鷹觜 昌子

当院の相談支援センターは当院の患者さん・ご家族はもとより、他院を利用されている患者さんやそのご家族もご利用いただけます。また地域の医療機関や福祉関連機関・行政機関など幅広い分野の方々にもご利用いただいております。

当センターには**地域医療連携室・医療福祉相談室・がん相談室・入退院支援室**があり、医師・看護師・医療社会福祉士（MSW）・臨床心理士・事務員が所属しております。医療・福祉・介護等に関する内容から、職員や設備等への提案・苦情など、あらゆる相談ごとの窓口としての役割を担っています。予約不要ですのでお気軽にご相談下さい。



予約・紹介のご案内

受付時間

平日 8:30～17:00 土曜日 8:30～12:00

医療機関・紹介状をお持ちの患者さんのご予約

電話 042-491-9128 FAX 042-491-3553

再診・初診（紹介状なし）のご予約

電話 042-491-6228

複十字病院

〒204-8522 東京都清瀬市松山3-1-24

代表電話 042-491-4111

代表FAX 042-492-4765

交通のご案内

電車でお越しの方

- ・西武池袋線『清瀬駅南口』より徒歩12分
- または、バス『南口2番乗り場』より3つ目『複十字病院前』下車
- ・JR中央線 武蔵小金井駅より『清瀬駅南口ゆき』バス『保育園入口』下車 バス停より徒歩5分

お車でお越しの方

- ・小金井街道『清瀬高校入口』信号を曲がり 西に300メートル
- ・所沢街道『全生園東』信号を曲がり病院通りを東北に2キロメートル